

第 43 回 武庫川流域委員会 議事骨子

1 議事録及び議事骨子の確認

松本委員長と岡田委員が、議事録及び議事骨子の確認を行う。

2 運営委員会報告等

- (1) 「第 52 回運営委員会(6 月 1 日開催)」の協議状況について、松本委員長から説明があった。
- (2) 「リバーミーティング開催報告」について、中川委員から説明があった。

3 総合治水対策の検討

(1) 第 39 回、第 40 回総合治水ワーキングチーム会議の報告

下記 ~ について、松本委員長から説明があった。

「第 39 回及び第 40 回総合治水ワーキングチーム会議協議結果」

「第 43 回武庫川流域委員会 WT 報告総括メモ」及び「洪水処理分担量(案)」

(2) 基本高水選択専門部会の報告

- ・「基本高水の選択」について、松本委員長から説明があった。
- ・「基本高水一本化への討議経過(報告)」について、川谷委員から説明があった。

(3) 河川管理者からの説明

「河川整備計画(原案)の目標流量と治水対策メニュー」について、河川管理者から説明があった。

(4) 協議結果(確認事項)

(A) 基本高水選択の確認

平成 16 年型モデル降雨による甲武橋地点におけるピーク流量 4,651m³/s を採用する。

河川管理者は、基本方針の同意申請時に必要な書類等について、法的根拠を示して整理し、総合治水ワーキングチーム会議に提出すること。

(B) 整備計画における目標流量と治水対策

資料 2-6 に示された選択肢について、委員の意見を次の通り確認した。

実現可能な対策を積み上げることによって見通しのつく流量 3,400 ~ 3,500m³/s : 6 名

1/30 規模に近づくために、 に加えて千苅ダムを増量し、3,700m³/s 程度 : 10 名

千苅ダムが無理ならば新規ダムの検討もやむなし : 2 名

1/30 規模に近づくために、 に遊水地を加え 3,600m³/s 程度 : 0 名

1/30 規模(3,882m³/s)を達成するために、新規ダムを位置づける : 1 名

保留 : 1 名

(C) 利水ダムに関する提言書

「武庫川水系の利水ダムの治水活用に関する緊急提言」について、松本委員長から説明・提案があり、了承された。

4 ワーキンググループからの報告

(1) 「まちづくりからみた武庫川づくり」「5つの戦略」「21のアクションプラン」(案)について、田村主査から説明があった。

(2) 「環境ワーキンググループの提言」について、村岡主査から説明があった。

5 その他(今後の開催日程)

- ・第44回委員会は、平成18年6月19日(月)13:30から、尼崎市中小企業センターで開催する。